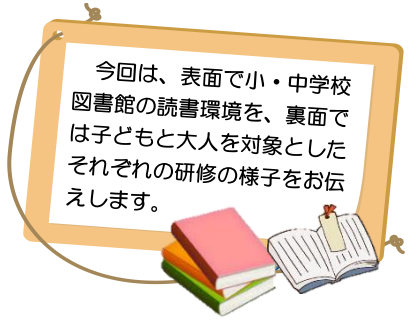


# むすぶ



## 学校図書館活性化支援による学校訪問

# できることから始めましょう！ 魅力的な図書館づくり

今年度から、県生涯学習課では、学校図書館を訪問し、蔵書管理や配架、展示等の様子を見ながら、図書館運営や読書指導について、担当者と話し合いをしています。どの学校でも、興味・関心を惹きつける展示や掲示、読みたい本がすぐに見付けられる配架、居心地のよい読書スペース、わくわくする読書イベントなど、様々な工夫がなされています。その一方で、それぞれの悩みや課題を共有することができました。

常駐する学校司書（支援員等）が、時節や行事毎にテーマを替えて、面出し展示等で本の魅力を伝えています

左から、にかほ市立仁賀保中学校、能代市立第四小学校、能代市立能代南中学校



定期的に学校図書館担当が、学校を訪問して環境整備しています

左から、北秋田市立阿仁合小学校、八郎潟町立八郎潟中学校



専任職員の配置がなく、教職員が、協力して読書支援しています

左から、五城目町立五城目第一中学校、五城目町立五城目小学校



## それぞれの学校図書館の課題

- 読み物資料は充実しているのですが、学習センターとしての機能を果たすために、資料の充実や使い方指導が必要である。
- 古い本や壊れた本、同じ本が書架スペースを占め、本棚の鮮度が落ちて見えるため、抜き出して整理することが必要である。
- 寄贈本をまとめた書架を維持するため、NDC分類に従った配架ができず、読み物が分散している。
- 子どもたちの読書意欲が高く、来館者が多い上、要望も多様なので、勤務時間内に対応しきれない。
- 限られた予算の中で、読みたいような図書資料を充実させたい。



詳細は、美の国あきたネット  
生涯学習課ホームページへ！

## 「読書絵はがき」作品

平成28年度  
秋田県読書絵はがきコンクール  
作品募集



本を読んでイメージした場面を、はがき（はがきサイズの画用紙も可）に、絵で表した作品を募集中！  
応募対象者は、幼児から中学生まで。秋田県児童会館宛てに9月23日（金）までお届けください。

## 「ビブリオバトル」観戦者

高校生ビブリオバトルを県内5会場で開催します。高校生たちがおすすめの本の魅力を語るの聞き、一番読みたくなった本を投票で決めます。それぞれの地区大会から、全県大会に出場させる一票を投じてみませんか？  
地区大会の日時や場所は、ポスターや生涯学習課ホームページでご確認ください。  
申込みは不要です。会場にお越しください。

## 「学校図書館でも役立てたい!!」

花輪図書館は6月9日(木)、鹿角市立花輪小学校図書委員を対象に、子ども司書講座を開催しました。児童の読書活動を推進しようと初めて企画した本講座には、5、6年生児童16名が集まり、普段は公開されない閉架書庫を見学したり、本の整理方法を学んだりしました。

夏に向けて昆虫コーナーを設置するなど、来館者の興味を惹き付けるために展示を工夫していることや、3桁の数字を用いて蔵書を整理する「日本十進分類法」



初めての書庫に興味津々

## 鹿角市立花輪図書館「子ども司書講座」



などの説明を聞いて、「学校図書館の本の展示や整理に役立ちそう。」と話していました。



メモをしながら話を聞きます

また、図書館職員から「今日の講座を生かして、学校でも楽しい雰囲気の図書館をつかってほしい。」と応援の言葉が送られると、児童たちは笑顔で応えていました。

今回参加した児童は、7月の講座で、「友達に紹介したい本」をテーマに、花輪図書館のスペースを使った企画展示に挑戦し、図書委員としての経験を重ねました。



## 平成28年度 地域読書ボランティア育成事業

## 「子育てを楽しくする! 絵本ワークショップ」開催



秋田県児童会館の後藤節子館長による絵本のワークショップが県内3か所で開催されました。就学前の親子や読み聞かせボランティアが、館長による読み聞かせや素話、パネルシアター、ワークショップなどを楽しみながら、絵本の読み聞かせやお話を通してコミュニケーションすることの大切さについて学びました。

6月22日(水)のイベントでは、一人芝居『おじさんのかさ』が披露されました。ステージ上に大小様々な傘が次々に開くという演出により、絵本の



傘の花が開いたステージ



ワークショップ参加の親子

一場面が再現されました。また、素話『かえるぼち』では、最後に重箱からたくさんの蛙が飛び出す仕掛けがあり、参加者から歓声が上がりました。

## 県南ブックコミュニティ交流学習会 in 横手わいわいプラザ



6月29日(水)、県南ブックコミュニティ(代表 佐藤京子氏)会員や読み聞かせを行っている人たちが集まって、交流学習会を行いました。読書好きな子どもを育てるために、“みんなが先生・みんなが生徒”となって高め合う学習会となりました。

全体学習会は7名による発表でした。示された3つのテーマ「選書した心情と技法をつなぐ読み聞かせ」「定時(15~20分)を活用するマイプログラム」「読書会や授業に取り入れてもらうブックトーク」に応じて、選書した本をふさわしい方法で演示して見せました。その多彩な手法や完成度の高さに参加者からは大きな拍手が送られました。

続くグループ学習では、知識と経験に基づいて活発な意見交換が行われました。

- 私たちのグループには、地域でいろいろなことをやっている人たちがいる。学校に読み聞かせに行くことで、子どもは地域とつながる。
- 素読の際に、正しいアクセントをアクセント辞典で調べている。鼻濁音、方言も正しく発音する。
- 自分の好きな絵本をどう料理するかが大切。
- 学校のどの時間帯で読み聞かせをするのか、学校が何を望んでいるのかを考えて選書する。
- 英語の絵本を読むと、子どもは意味が分からなくとも笑う。読み手によって感動は伝えられる。
- 複数で1冊の本を読むとき、声や世界観の違いをどのように扱うのか考える必要がある。

こんなことが話題に...

秋田県教育庁生涯学習課  
社会教育・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>